

●韓国・釜山広域市への出張について

韓国・釜山広域市で開催される「アジアン・フィルム・マーケット 2012」に参加するため、上田市長が同市を訪れます。

このたびの訪問は、ことし 6 月に「札幌コンテンツ特区」の計画が国の認定を受け、本格的に事業が動き出したことから、海外の映像関係者等に対し、札幌・北海道のロケ地としての魅力を伝えるとともに、札幌市が日本で唯一の映像コンテンツ分野における総合特区であり、映像制作の誘致に積極的に取り組んでいることなどを PR するためのものです。

札幌をアピールするこの絶好の機会を生かし、「札幌コンテンツ特区」の取り組みに弾みをつけ、「創造都市さっぽろ」の推進につなげていきます。

1 訪問先

韓国・釜山広域市

※ 札幌市と釜山広域市は、平成 20 年 10 月に、「映像教育・人材育成」「共同映像制作」「映像流通」の分野における協力関係の構築を目的とした覚書（MOU:Memorandum of Understanding）を締結しています。

2 訪問日程

平成 24 年 10 月 7 日（日）～9 日（火）

3 訪問者

上田市長、産業振興部長など（計 4 人）

4 主なスケジュール

10/7（日）	<ul style="list-style-type: none">・移動（札幌市→釜山市）・釜山市内視察（映画の殿堂※、釜山撮影スタジオ） ※ 昨年 9 月にオープンした、韓国最高レベルの映画館を核とした映像複合文化施設・釜山フィルムコミッションとの意見交換
10/8（月）	<ul style="list-style-type: none">・アジアン・フィルム・マーケットへの参加<ul style="list-style-type: none">・展示会場におけるトップセールス・「札幌セミナー」におけるプレゼンテーション・オープニングレセプションへの出席
10/9（火）	<ul style="list-style-type: none">・釜山市長、釜山フィルムコミッション委員長との懇談・アジアン・フィルム・マーケットへの参加<ul style="list-style-type: none">・展示会場におけるトップセールス・「アジア映像政策フォーラム」開幕式への出席・移動（釜山市→札幌市）

※ なお、札幌コンテンツ特区の推進組織である「札幌映像機構（SAS）」は、アジアン・フィルム・マーケット会場に出展し、北海道を舞台とする映画や、道内のテレビ局が制作した番組などの映像コンテンツの商談を行う。

5 「アジア・フィルム・マーケット 2012」について

- (1) 期 間：平成 24 年（2012 年）10 月 8 日～11 日（4 日間）
※ 同時期に「第 17 回釜山国際映画祭」が開催される。
（期間：10 月 4～13 日、会場：Busan Cinema Center 等）
- (2) 会 場：BEXCO Exhibition hall 1、LOTTE CINEMA Centum City
- (3) 主 催：釜山国際映画祭、釜山フィルムコミッション
- (4) 規 模（前年度実績）：42 の国と地域から 582 の企業・フィルムコミッションが参加
- (5) 内 容：① APM (Asian Project Market)
監督、プロデューサー、投資家を対象にしたビジネスマッチング
- ② SALES MARKET
映像作品のマーケット
- ③ BIFCOM (Busan International Film Commission & Industry Showcase)
ロケ分野におけるフィルムコミッションや映像事業者の見本市
- ④ その他の主なイベント
- ・韓国映画振興委員会産業フォーラム (KOFIC Industry Forum)
 - ・各種セミナー
- ※「札幌セミナー」(Sapporo Presentation) では、上田市長がプレゼンテーションを行う。
- (6) 関連イベント：
アジア映像政策フォーラム (Asian Film Policy Forum)
＜札幌市の本フォーラムへの参加実績＞

年度	参加者	備考
2008	経済局長、 新産業担当課長	本フォーラムの中で、札幌市と釜山市との間で映像制作に関する協力関係を構築する覚書 (MOU) に調印。
2009	生島副市長、 産業振興部長	生島副市長が MOU 締結後の取り組みについてプレゼンテーションを実施。
2010	産業振興部長	

問い合わせ先

経済局産業振興部ものづくり産業課（特区推進担当） 米田・津田
電話：211-2379